

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	長泉町下水道耐震化計画（防災・安全）														
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当				
交付対象	長泉町														
計画の目標	長泉町における公共下水道の既設管渠について、防災・減災を目的に地震対策及び老朽化対策を推進する。														
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		48	A	48	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H29末	R2末
1	長泉町下水道総合地震対策計画において短期的に対策を要すると判断されたマンホールの管口19箇所を全て可とう化させる。			
	短期的に対策を要すると判断されたマンホールの管口の耐震化（可とう化）箇所数（H27末現在：10／19箇所）。	10箇所	19箇所	19箇所
2	ストックマネジメント計画を策定する。			
	ストックマネジメント計画策定。	0%	0%	100%
	ストックマネジメントに関する計画の策定数／ストックマネジメントに関する計画の策定予定数			
3	下水道総合地震対策計画の見直しを行い、変更計画を策定する。			
	下水道総合地震対策計画（変更）の策定。	0%	0%	100%
	下水道総合地震対策計画（変更）の策定数／下水道総合地震対策計画（変更）の策定予定数			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	長泉町	直接	長泉町	－	－	狩野川流域下水道西部処 理区下水道耐震化事業	下水道管耐震化 L=0.05km 管口耐震 n=9箇所	長泉町	■	■				4		策定済
	A07-002	下水道	一般	長泉町	直接	長泉町	管渠（ 污水）	改築	長泉町下水道施設ストッ クマネジメント事業	計画策定・調査	長泉町			■	■	■	39		策定中
	A07-003	下水道	一般	長泉町	直接	長泉町	－	－	長泉町下水道耐震化事業	下水道総合地震対策計画の変 更計画の策定・実施設計	長泉町					■	5		策定中
											小計						48		
											合計						48		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	公表の方法
	ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	H28・H29年度の2か年にて管口の可とう化19箇所を達成した ストックマネジメント計画については、H30年度に基本計画を策定し、H31年度に修繕計画を策定した 総合地震対策計画についてはR2年度に計画を策定した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

R3年度から第2期長泉町下水道耐震化計画がスタートし、ストックマネジメント計画に基づくTVカメラ調査を行い、総合地震対策計画に基づき、調査・設計から工事の実施を行う。	
---	--

案件番号：

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震化箇所数 19か所		
	最 終 目標値	19箇所	
	最 終 実績値	19箇所	
2	計画策定 1 0 0 %		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	見直し・変更計画の策定 1 0 0 %		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	